

第 8 期琵琶湖に係る湖沼水質保全 計画関連事業の実績状況

令和 6 年 6 月 24 日
滋賀県琵琶湖環境部

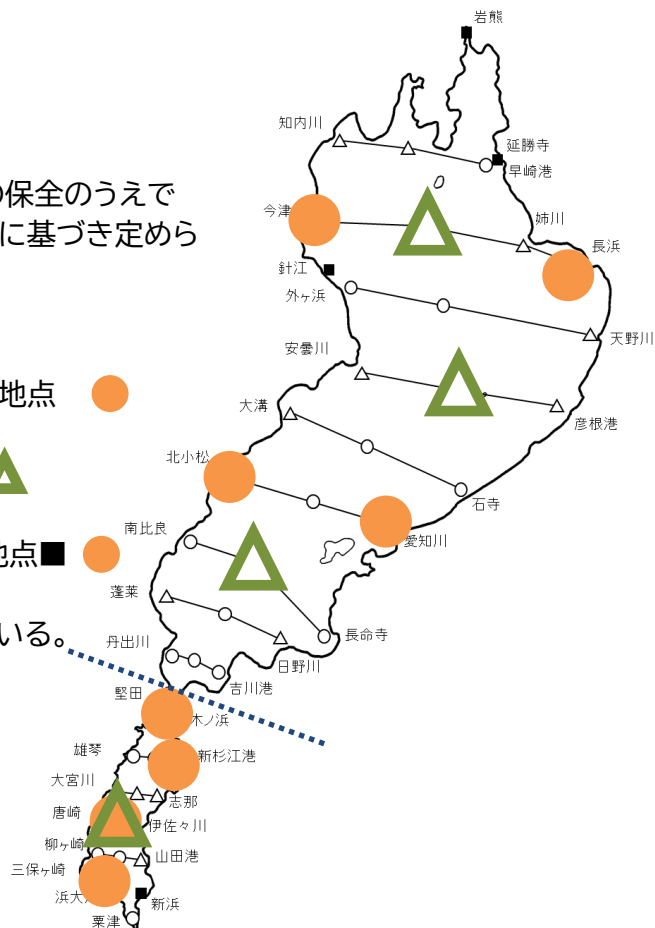
〈琵琶湖における水質環境基準の状況〉

環境基準とは、人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持することが望ましい基準であり、環境基本法に基づき定められている。

琵琶湖においては、

- ・COD 等生活環境項目に係る環境基準点は8地点 (北湖4地点、南湖4地点)
- ・富栄養化項目に係る環境基準点は4地点、 (北湖3地点、南湖1地点)
- ・水生生物保全項目に係る環境基準点は 12 地点 (北湖7地点、南湖5地点)

が定められている。



令和5年度の琵琶湖における水質環境基準の状況は以下のとおりである。

①COD 等生活環境項目

	項 目	基準値	R5年度 測定値等	R5年度中 最小～最大
北湖	pH	6.5 以上 8.5 以下	41/48	7.5～8.9
	COD (mg/L)	1 以下	2.6	1.8～3.6
	SS(mg/L)	1以下	27/48	<1～11
	DO(mg/L)	7.5 以上	48/48	7.78～11.5
	大腸菌数(CFU/100mL)	100 以下	4	<1～44
南湖	pH	6.5 以上 8.5 以下	37/48	7.5～9.8
	COD (mg/L)	1 以下	4.7	2.2～11.9
	SS(mg/L)	1以下	6/48	<1～26
	DO(mg/L)	7.5 以上	47/48	6.9～12.0
	大腸菌数(CFU/100mL)	100 以下	26	<1～88

- ・COD は各環境基準点の 75%値※のうち、最も高い地点で判定
※75%値:年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目
- ・大腸菌数は各環境基準点の 90%値※のうち、最も高い地点で判定
※90%値:年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.90×n 番目
- ・COD 以外は、日間平均値が環境基準を達成した割合で判定(延べ達成日数/延べ測定日数[4地点×12 回])

②富栄養化項目

	項 目	基準値	R5年度 測定値	R5 年度中 最小～最大
北湖	T-N(mg/L)	0.2	0.19	0.12～0.26
	T-P(mg/L)	0.01	0.008	0.003～0.022
南湖	T-N(mg/L)	0.2	0.22	0.14～0.30
	T-P(mg/L)	0.01	0.014	0.008～0.022

・各環境基準点の年間平均値のうち、最も高い地点で判定

③水生生物保全項目

全亜鉛、ノニルフェノール、LAS について、全地点で環境基準を達成。

COD(化学的酸素要求量)

水中の有機物を酸化剤で化学的に酸化する際に消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもの。

有機汚濁の指標。

有機物を分解する際に溶存酸素が消費されることによって生じる生物生息環境への影響および悪臭、着色などの生活環境への影響が考えられる。

T-N(全窒素)および T-P(全りん)

富栄養化の代表的な原因物質。

湖沼や内湾などの停滞性水域に大量の栄養分(窒素・リン等)が流入すると、富栄養の状態となり、水域内部での一次生産量(植物プランクトン)が増加して二次生産者(動物プランクトンなど)による補食が追いつかないために生態系のバランスが崩れる。富栄養化による障害は植物プランクトンの異常発生による濁り、浄水場のろ過障害、清水性魚介類の生息障害などがあり、富栄養化による極端な例が赤潮やアオコ現象。

1. 湖沼水質保全計画の経過

湖沼水質保全特別措置法(以下、「湖沼法」と言う。)に基づき昭和 60 年度に琵琶湖が指定湖沼に指定され、昭和 61 年度に第1期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画(以下、「計画」と言う。)を策定して以来、5年ごとに見直しを行っており、平成 28 年度に策定した第7期計画は、令和2年度をもって計画期間の満了を迎え、令和3年度に第 8 期計画を策定した。

また平成 18 年度には、琵琶湖の汚濁負荷量に占める割合が大きく、汚濁負荷削減対策を実施することが可能である地区として、湖沼法に基づき赤野井湾を流出水対策地区に指定し、同年度に赤野井湾流域流出水対策推進計画を策定し、第5期計画内に定めており、計画の見直しと並行して、流出水対策計画も見直しをおこなっている。

2. 計画の目的

水質の環境基準(COD、全窒素、全りん)の達成を目途としつつ、計画期間内(原則5年)に実施できる対策効果をもとに推計した水質目標の達成を目的とする。

3. 第8期計画期間

令和3年度から令和7年度(5年間)

4. 計画記載事項

① 計画期間

② 水質保全方針 重点的または新たな取り組み等

③ 水質の保全に資する事業

下水道、し尿処理施設、浄化槽、廃棄物処理施設、浚渫等の湖沼浄化対策等

④ 水質の保全のための規制その他の措置

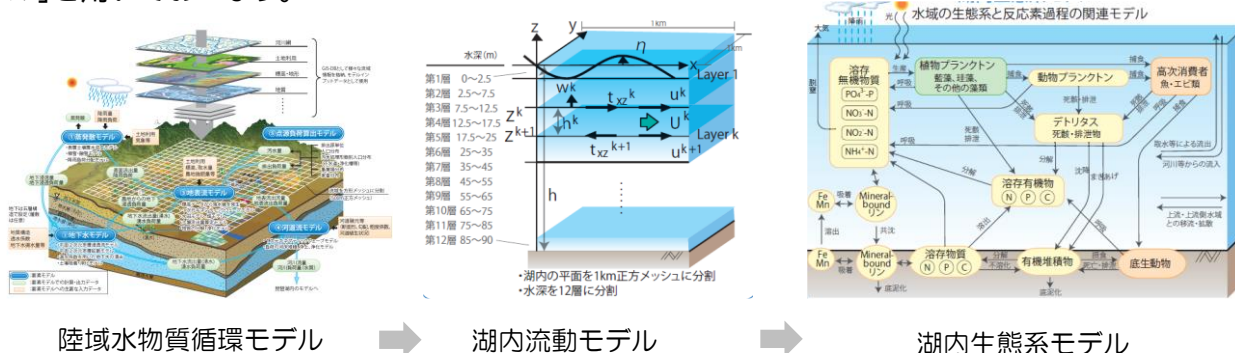
工場・事業場の排水対策、生活排水対策、流出水対策、水草除去、ヨシ群落の保全等

⑤ その他水質の保全のために必要な措置

水質監視、調査研究、生態系の保全、環境学習、地域住民との協働等

5. 水質シミュレーション

水質の現況再現および将来予測に係るシミュレーションは、「琵琶湖流域水物質循環モデル」を用いておこなう。



6. 第8期計画における事業の進捗状況

(1) 水質目標値の達成状況（環境基準点）

(mg/l)

		令和2年度	令和7年度目標		過年度実績				
					第7期		第8期		
		実績	対策を講 じない場合	対策を講 じた場合	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
COD	北湖	2.8	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	2.6
75%値	南湖	5.3	4.5	4.5	4.1	5.3	5.2	4.9	4.7
全窒素 年平均	北湖	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	0.19
	南湖	0.24	0.25	0.24	0.22	0.24	0.27	0.23	0.22
全りん 年平均	南湖	0.015	0.018	0.015	0.011	0.015	0.016	0.014	0.014

(参考値)

		令和2年度	令和7年度目標		過年度実績				
					第7期		第8期		
		実績	対策を講 じない場合	対策を講 じた場合	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全りん 年平均	北湖	0.007	0.007	0.007	0.006	0.007	0.008	0.009	0.008
TOC	北湖	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.5
	南湖	2.3	2.2	2.2	2.1	2.3	2.2	2.3	2.4

(2) 水質の保全に資する事業

① 下水道整備計画

年度	指定地域内 行政人口	指定地域内 処理人口	指定地域 内普及率
平成30年度	1,419千人	1,280千人	90.2%
令和元年度	1,419千人	1,293千人	91.1%
令和2年度	1,416千人	1,297千人	91.6%
令和3年度	1,412千人	1,300千人	92.1%
令和4年度	1,411千人	1,306千人	92.5%
令和5年度	集計中	集計中	集計中
令和7年度目標	1,394千人	1,320千人	94.7%

② 農業集落排水施設整備

年度	普及率
平成30年度	6.0%
令和元年度	5.3%
令和2年度	5.3%
令和3年度	4.5%
令和4年度	4.2%
令和5年度	集計中
令和7年度目標	3.4%

③ 合併処理浄化槽整備

年度	普及率
平成30年度	2.5%
令和元年度	2.4%
令和2年度	2.4%
令和3年度	2.4%
令和4年度	2.4%
令和5年度	集計中
令和7年度目標	1.8%

④ 汚水処理施設の普及率

年度	普及率
平成30年度	99.3%
令和元年度	98.9%
令和2年度	98.9%
令和3年度	99.1%
令和4年度	99.1%
令和5年度	集計中
令和7年度目標	99.8%

※()内は第7期計画期間

第8期琵琶湖に係る湖沼水質保全計画における事業一覧

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
1	水質目標値 (mg/L)	(北湖) COD75%値：2.8 COD平均値：2.5 全窒素：0.20 (南湖) COD75%値：4.5 COD平均値：3.2 全窒素：0.24 全りん：0.015	琵琶湖保全再生課	(北湖) COD75%値：2.8 COD平均値：2.5 全窒素：0.20 (南湖) COD75%値：4.9 COD平均値：3.5 全窒素：0.23 全りん：0.014	(北湖) COD75%値：2.6 COD平均値：2.3 全窒素：0.19 (南湖) COD75%値：4.7 COD平均値：3.4 全窒素：0.22 全りん：0.014
2	(1) 持続的な污水处理システムの構築		下水道課 農村振興課 循環社会推進課		
3		(滋賀県内污水处理施設の普及率) 下水道 94.7% 農業集落排水施設 3.4% 浄化槽 1.8% (合計) 99.8%	下水道課 農村振興課 循環社会推進課	(滋賀県内污水处理施設の普及率) 下水道 92.5% 農業集落排水施設 4.2% 浄化槽 2.4% (合計) 99.1%	(滋賀県内污水处理施設の普及率) 下水道 集計中 農業集落排水施設 集計中 浄化槽 集計中 (合計) 集計中
4	① 下水道の整備	面的整備の推進等	下水道課	流域幹線：2処理区 浄化センター：4箇所	流域幹線：4処理区 浄化センター：4箇所
5	② 農業集落排水施設の整備	適正な維持管理	農村振興課	農業集落排水事業 機能強化工事 5地区 計画策定業務 1地区	農業集落排水事業 機能強化工事 5地区 機能診断業務 1地区 計画策定業務 2地区
6	③ 浄化槽等の整備	生活排水対策の推進等	循環社会推進課	78基の浄化槽を新規整備	80基の浄化槽を新規整備
7	(2) 廃棄物処理施設の整備	不法投棄等の不適正処理に起因する水質汚濁の防止を推進	循環社会推進課	要綱に基づく廃棄物処理施設等への立入検査の実施により、処理業者等の不適正処理に起因した水質汚濁の発生がないことを確認した。	要綱に基づく廃棄物処理施設等への立入検査の実施により、処理業者等の不適正処理に起因した水質汚濁の発生がないことを確認した。
8	(3) 湖沼の浄化対策		市町振興課 琵琶湖保全再生課 下水道課 流域政策局 水産課 琵琶湖環境科学研究センター		
9	① 水草等の除去	水草等の刈り取りを実施	琵琶湖保全再生課	水草刈取り・除去量 3,257t	水草刈取り・除去量 3,120t
10			下水道課	水草刈り取り量374.1t (揚陸量)	水草刈取量 215.5t
11			流域政策局	水草刈取量 372t	水草刈取量 383t
12		除去実施市町への支援	市町振興課	4,524	集計中

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
13		水草等たい肥を配布するなど水草の有効利用の推進	琵琶湖保全再生課	延べ912人、296m3配布	延べ489人、191m3配布
14		水草対策技術開発支援	琵琶湖保全再生課	支援団体 4団体	支援団体 5団体
15		水草対策調査・研究	琵琶湖保全再生課 琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖博物館 他	関係機関から構成する水草対策チームを設置し、効率的・効果的な水草対策をおこなうため、水草繁茂状況や水草関連試験研究等に関して情報交換をおこなった（2回/年）。	関係機関から構成する水草対策チームを設置し、効率的・効果的な水草対策をおこなうため、水草繁茂状況や水草関連試験研究等に関して情報交換をおこなった（2回/年）。
16		水草を摂食するワタカの放流	水産課	100千尾を放流	100千尾を放流
17	②湖底の環境改善	南湖の湖底の耕うんや平坦化、砂地の造成	水産課	耕うん(志那沖188ha)	耕うん(志那沖188ha)
18	(4)流入河川等の浄化対策		流域政策局		
19	①内湖の浄化対策	木浜内湖等において覆土等（植生護岸を含む）を実施	流域政策局	木浜内湖 覆砂・植生工44.4m	木浜内湖 植生工61.4m
20	②河川の浄化対策	赤野井湾等において浄化施設を整備	流域政策局	水質浄化施設として小津袋内湖の拡幅を実施した。	水質浄化施設として小津袋内湖の拡幅を実施した。
21		生態系に配慮した多自然川づくりによる河川改修やダム湖の水質保全および水質の把握	流域政策局	曝気設備の運用管理 水質検査	曝気設備の運用管理 水質検査
22		生態系に配慮した多自然川づくりによる河川改修やダム湖の水質保全および水質の把握	流域政策局	連節ブロック1.94km	連節ブロック1.78km
23	(1)工場・事業場排水対策		環境政策課 下水道課 循環社会推進課 建築課 京都府・京都市		
24	①排水規制等	立入検査等による排水基準等遵守の徹底、排水量10m以上の特定事業場に対する上乗せ排水基準による規制	環境政策課	規制対象に対する238事業場の立入検査、281検体の排水検査を実施。	規制対象に対する198事業場の立入検査、251検体の排水検査において基準超過のあった事業場の指導を実施
25	②汚濁負荷量の規制	湖沼特定事業場に対する汚濁負荷量規制	環境政策課	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない	汚濁負荷量規制対象について基準違反は認められない
26	③指導等	規制対象外事業場に対する指導	環境政策課	苦情処理時等において指導を実施	苦情処理時等において指導を実施
27		市町がおこなう下水道への接続促進に関する取組への支援	下水道課	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料の作成を進めた。	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料を作成した。
28	(2)生活排水対策		循環社会推進課 下水道課 建築課 京都府・京都市 環境政策課		

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
29	水濁法に基づく生活排水対策の促進	「生活排水対策推進計画」に基づく対策の推進、「県生活排水対策推進条例」に基づく浄化槽の設置の徹底	循環社会推進課	浄化槽の設置義務に関する区域について条例に基づき告示を行った。また担当課HPにて条例の周知を行った。	浄化槽の設置義務に関する区域について条例に基づき告示を行った。また担当課HPにて条例の周知を行った。
30	①下水道への接続の促進	下水道への接続の促進	下水道課	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料の作成を進めた。	業務委託により、各市町が接続率向上に寄与するための方策を実施する際に参考となる資料を作成した。
31	②浄化槽の適正な設置、管理の確保	浄化槽の適正な設置、管理の確保等	循環社会推進課	(公社)生活環境事業協会への事業委託により浄化槽管理者(所有者)への啓発等を実施した。また担当課HPで啓発を行った。	(公社)生活環境事業協会への事業委託により浄化槽管理者(所有者)への啓発等を実施した。また担当課HPで啓発を行った。
32			建築課	建築基準法に基づく浄化槽設置届の受理	建築基準法に基づく浄化槽設置届の受理
33		京都市が浄化槽の適正な管理の確保のための指導等を図る	京都府・京都市	個別訪問による啓発用リーフレットの配布を実施した。	個別訪問等による啓発用リーフレットの配布を実施した。
34	③水環境への負荷の少ないライフスタイルの確立	暮らしと水環境とのつながりや影響を学ぶ環境学習の推進、環境に配慮した生活(エコライフ)に関する情報提供、啓発	環境政策課	琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施した。出前講座は、東山中学校において、暮らしと琵琶湖のつながりについて講義(約174名)するなど計7回実施した。	琵琶湖学習入門編である「びわ湖を学ぼう」等の配布や、暮らしと琵琶湖のつながりについて、各方面への出前講座を継続的に実施した。出前講座は、東山中学校において、暮らしと琵琶湖のつながりについて講義(約174名)するなど計7回実施した。
35	(3)畜産に係る汚濁負荷対策		環境政策課 畜産課		
36	①家畜排せつ物の適正な管理	畜産農家へ家畜排せつ物の適正管理の指導	畜産課	畜産経営環境保全実態調査を実施し、畜産農家の家畜排せつ物に関する管理状況を把握するとともに必要に応じて指導を行った。	畜産経営環境保全実態調査を実施し、畜産農家の家畜排せつ物に関する管理状況を把握するとともに必要に応じて指導を行った。
37	②畜舎の管理の適正化	構造および使用方法の規制の遵守徹底等	環境政策課	立入検査や届出の審査の中で指導を実施	立入検査や届出の審査の中で指導を実施
38	(4)魚類養殖に係る汚濁負荷対策	飼料の投与、へい死魚の適正処理等の指導	水産課	飼料の投与、斃死魚の取扱い、医薬品使用についての指導を実施	飼料の投与、斃死魚の取扱い、医薬品使用についての指導を実施
39	(5)流出水対策		下水道課 森林保全課 みらいの農業振興課 農村振興課 道路整備課・道路保全課 京都府		
40	①農業地域対策	「県環境こだわり農業推進条例」等に基づき、化学合成農薬等使用量減、農業排水の適正管理等の実施	みらいの農業振興課	環境こだわり農産物栽培面積 13,376ha	環境こだわり農産物栽培面積 13,248ha
41		「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」として農地や農業用施設等の適正管理、農業排水対策の実施	農村振興課	取組面積 35,704ha	取組面積 36,004ha
42		「みずすまし構想」に基づく、農業用排水施設の計画的な整備、農業排水の循環利用などの施策の推進等	農村振興課	水質浄化施設整備 2地区	水質浄化施設整備 2地区

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
43		京都府においては、化学農薬及び化学肥料の施用量の低減の実施	京都府	営農の実情に即した化学農薬および化学肥料の施用量の低減等を推進	営農の実情に即した化学農薬および化学肥料の施用量の低減等を推進(R5年度：656ha)
44	②市街地対策	小水路の清掃、市街地排水浄化施設の整備、透水性舗装の整備、雨水貯留浸透施設の整備、雨水排水の地下浸透工法の活用	下水道課	なし	なし
45			道路整備課・道路保全課	透水性舗装：6.25千㎡	透水性舗装：22千㎡
46	③自然地域対策	森林等自然地域の適正管理、負荷の実態把握	森林保全課	・山地治山総合対策 30箇所 30.82ha ・水源地域等総合対策 4箇所 27.86ha ・流域保全総合治山 4箇所 39.19ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 4.65ha ・造林事業：1,180ha	・山地治山総合対策 43箇所 70.35ha ・森林基盤整備（交付金） 16箇所 29.67ha ・造林事業：1272.46ha
47	④流出水対策地区における重点的な対策の実施	赤野井湾流出水対策推進計画に基づく負荷低減対策の推進		別掲	別掲
48	(6) その他の負荷低減対策		琵琶湖保全再生課 循環社会推進課		
49	①琵琶湖におけるレジャー利用の適性化	プレジャーボートの従来型2サイクルエンジンの使用禁止対策	琵琶湖保全再生課	環境対策型エンジンであることを示す適合証の発行1,377件 適合証の表示状況の監視、指導	環境対策型エンジンであることを示す適合証の発行1,323件 適合証の表示状況の監視、指導
50	②散在性ごみ防止に係る啓発	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発の実施	循環社会推進課	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発パトロール等を実施した。	環境美化監視員によるごみの散乱防止のための監視・啓発パトロール等を実施した。
51	③プラスチックごみ等の増加の防止	3Rの一層の推進、適正処理の実践を推進	循環社会推進課	プラスチックごみにかかる3Rの推進啓発の実施やマイボトル利用可能スポットの増加促進等を行った。	令和5年10月から「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」を開始。各種啓発資材を作成し、プラスチックごみ削減の実践取組を支援した。
52		マイクロプラスチックに関する科学的な知見の収集、情報発信 第七期政策課題4	琵琶湖保全再生課 琵琶湖環境科学研究センター 循環社会推進課	なし	(琵琶湖環境科学研究センター) ・市街地、農地、河川、琵琶湖においてマイクロプラスチックの調査を実施 ・既往文献や実態調査の結果も踏まえ、プラごみモデルの構造を概ね決定 ・ワークショップやアンケート調査を実施し、プラスチックに対する一般市民の意識を把握 (循環社会推進課・県立大学) 滋賀県環境科学研究センターの佐藤研究員と共同で、ワークショップやアンケート調査を実施し、プラスチックに対する一般市民の意識を把握した。
53	(7) 緑地の保全その他湖辺の自然環境の保護		琵琶湖保全再生課 自然環境保全課 都市計画課		

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
54	①緑地の保全	関係諸制度の適確な運用による緑地の保全	自然環境保全課ほか	自然公園区域、保安林区域内での開発規制	自然公園区域、保安林区域内での開発規制
55		都市公園の整備	都市計画課	— ※事業の実施なし	— ※事業の実施なし
56	②湖辺の自然環境の保護	「琵琶湖のヨシ群落の保全に関する条例」に基づく、ヨシ群落保全事業の実施	琵琶湖保全再生課	長浜市長浜地区でヨシ帯再生のための消波工等を設置 0.01ha ヨシ刈り等ヨシ群落保全活動を実施	ヨシ刈り等のヨシ群落保全活動を実施
57	(8) 公共用水域の水質監視		国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課		
58		琵琶湖51地点、流入河川31地点における、水質監視	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課	琵琶湖51地点、流入河川27地点において水質監視をおこなった。	琵琶湖51地点、流入河川27地点において水質監視をおこなった。
59		底層D〇の監視	国土交通省 水資源機構 琵琶湖保全再生課	琵琶湖5地点において底層D〇の監視をおこなった。	琵琶湖5地点において底層D〇の監視をおこなった。
60		プランクトン調査の実施等	琵琶湖保全再生課	北湖3地点、南湖1地点においてプランクトン調査をおこなった。	北湖3地点、南湖1地点においてプランクトン調査をおこなった。
61		モニタリングの改善	琵琶湖保全再生課	モニタリングの見直しに関して、関係機関と調整を行い、環境審議会で報告した。	なし
62	(9) 調査研究の推進	各種調査研究の推進	環境政策課 琵琶湖保全再生課 水産課 流域政策局 琵琶湖環境科学研究センター		
63		・植物プランクトンが生みだした有機物が、動物プランクトン、さらには魚類へと滞りなく受け渡される要件と指標に関する調査研究及び良好な水質と豊かな生態系を両立する新たな水質管理手法の検討 第七期政策課題1	琵琶湖環境科学研究センター	・物質循環の円滑さ指標の検討とモデル解析 ・動プラと餌生物の現存量等の継続調査と、動プラの量が増えやすい要件の検討 ・動プラと餌生物のCNPの継続分析と、動プラの質(C: N、C: P)に影響する要因の検討 ・湖水溶存有機物の分子量別に分離・濃縮して測定、生分解性の検討 ・化学分析法の改良、湖水試料への適用、湖水細菌の培養実験 ・湖内の炭素や栄養塩等の物質循環の状況を把握するためのモニタリングデータの解析 ・有機物分解実験試料の指標候補の分析・解析、粒径別調査	・流域水物質循環モデルを用いて全層循環未完了を引き起こす気象条件について解析 ・サイズ別植物プランクトンの増殖に及ぼす水温の影響を評価 ・表層のサイズ別植物プランクトン等のCNP量と沈降有機物のCNP量等の関係を解析 ・表層の植物プランクトンの光合成生産量測定と沈降粒子の観測 ・湖水溶存有機物の分解に及ぼす水温の影響を評価 ・モニタリングデータを用いて物質循環指標を算出し、気候変動が貧酸素化等に及ぼす影響を解析 ・底生動物の分布調査の実施 ・底生動物の摂食量と無機化する栄養塩量との関係を評価
64		・気候変動の影響を見据えた水質改善対策（植物プランクトンの大繁殖や底層の貧酸素化の抑制）に係る検討	琵琶湖保全再生課	西の湖をモデルにアオコの発生抑制を目的とした、底層への酸素供給などの実証試験を実施した。	西の湖をモデルにアオコの発生抑制を目的とした、底層への酸素供給などの実証試験を実施した。

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
65		・在来魚介類のにぎわい復活に向けた琵琶湖およびその集水域での生態系の保全、修復方法の調査研究	環境政策課	湖辺や河川において、地域住民等とも協働した在来魚介類のにぎわい復活に向けた実証的な研究を進め、水温上昇がシジミの生育に与える影響などが明らかとなった。	河川流域において、地域住民等とも協働した在来魚介類のにぎわい復活に向けた実証的な研究を進め、研究成果をエコツアー等で活用した。
66		・底層DOモニタリング方法の構築 第七期政策課題1	琵琶湖環境科学研究センター	- 水深別調査の実施 - 底層DOおよび底層水質を調査、底層DO低下状況を把握。DOと水質の関係を解析 - 底層DOの環境基準点設定等にあたり調査結果を提供 - 底泥の酸素消費量（SOD）の詳細把握調査を実施、SODと底泥成分の関係を解析 - SOD簡易測定法による面的分布把握調査の実施	- 水深別調査の実施 - 底層DOおよび底層水質を調査、底層DO低下状況およびその水質への影響等を把握。DOと水質の関係を解析 - 環境基準項目としての底層DOの達成目標設定にあたり調査結果を提供 - 底泥の酸素消費量（SOD）の調査を実施、現状を把握するとともにSODと底泥成分の関係を解析 - SOD簡易測定法を活用したSODへの温度影響を評価
67		・南湖生態系に影響を及ぼす湖底環境等に関する研究 第七期調査解析1	琵琶湖環境科学研究センター	- 南湖湖底直上における貧酸素水塊の特徴の解析、琵琶湖の放流量が貧酸素水塊へ与える影響の評価 - 環境DNAを用いたアユ、ホンモロコの分布の季節変化の解析 - 南湖の底泥に含まれる炭素量等の測定による、水草の繁茂が湖底の底質に与える影響の評価	- 衛星画像を用いた沈水植物のモニタリング手法の検討 - 環境DNAの網羅的解析による南湖の魚類、二枚貝類のDNA検出
68		・赤野井湾での水質汚濁メカニズム解明のための調査、解析	琵琶湖環境科学研究センター 琵琶湖保全再生課	湾内の水質調査の実施。	湾内の水質調査の実施。
69		・琵琶湖の環境保全に資する森林づくりに関する調査研究を実施 第七期政策課題3	琵琶湖環境科学研究センター	ゾーニングの条件、森林更新、高齢林の林分構造および森林の価値に関する調査研究を実施。	- 広葉樹誘導で求められる情報基盤の構築手法の開発 - 主伐が水および炭素の循環に及ぼす影響の分析手法の開発
70		・底質改善事業の評価のための赤野井湾の底質や底生生物等のモニタリング調査を実施	流域政策局	実施無し	実施なし
71		・良好な漁場を保全するための調査研究を実施	水産課	漁場の悪化要因、魚介類資源の回復に向けた技術開発研究を実施	漁場の悪化要因、魚介類資源の回復に向けた技術開発研究を実施
72	(10) 自然生態系の保全と自然浄化機能の回復		琵琶湖保全再生課 森林保全課 自然環境保全課 水産課 農村振興課 流域政策局 (独)水資源機構		
73	① 森林・農地等の保全と利用	里山林の保全・確保	農村振興課	-	-

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
74		水源かん養保安林等の適性な配備	森林保全課	・山地治山総合対策 30箇所 30.82ha ・水源地域等総合対策 4箇所 27.86ha ・流域保全総合治山 4箇所 39.19ha ・森林基盤整備（交付金） 18箇所 4.65ha ・造林事業：1,180ha	・山地治山総合対策 43箇所 70.35ha ・森林基盤整備（交付金） 16箇所 29.67ha ・造林事業：1272.46ha
75	②流域における対策	里山林の生態系保全と自然浄化対策を推進	農村振興課	ため池整備 6カ所	ため池整備 11カ所
76		魚のゆりかご水田プロジェクトの実施	農村振興課	取組地域 17地域 118.5ha	取組地域 18地域 132.2ha
77		琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト等の実施	農村振興課	魚のゆりかご水田米PR 研修会、生きもの調査の実施	魚のゆりかご水田米PR 研修会、生きもの調査の実施
78	③湖辺における対策	自然湖岸の再生、砂浜の保全	流域政策局	砂浜保全（2箇所継続）	砂浜保全（2箇所継続）
79		前浜の維持管理	（独）水資源機構	前浜の巡視点検とモニタリング調査を行った。	前浜の巡視点検とモニタリング調査を行った。
80		早崎内湖をはじめとした内湖本来の機能の保全および再生、ビオトープ活用の推進	琵琶湖保全再生課	生物環境調査、水管理業務、湛水地保全管理業務、地域主体型環境調査を行った。	水管理業務、湛水地保全管理業務、地域主体型環境調査を実施した。北区にて工事を実施、南区にて詳細計画の策定を行った。また策定に必要な測量業務を実施した。
81			（独）水資源機構	ビオトープを活用した外来種駆除等の環境学習会を実施した。	ビオトープを活用した外来種駆除等の環境学習会を実施した。
82	④湖沼生態の保全と回復	固有の魚類等の種苗の放流	水産課	7種苗の放流（ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ、ピワマス、ホンモロコ、ウナギ、ワタカ、セタシジミ）	6種苗の放流（ニゴロブナ、ゲンゴロウブナ、ピワマス、ウナギ、ワタカ、セタシジミ）
83		外来魚の駆除・繁殖抑制	水産課	水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲：97t	水産有害生物駆除事業によるブラックバス、ブルーギルの捕獲：74t
84		産卵繁殖場であるヨシ帯の造成や覆砂による砂地の造成	水産課	ヨシ帯の造成 0ha 砂地の造成 4.5ha (R3繰越分)	ヨシ帯の造成 0ha 砂地の造成 5.3ha (R4繰越分)
85		侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業	自然環境保全課	○オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の大規模再生を防ぐため、巡回・監視と早期駆除を広範囲に実施 ○駆除困難箇所に対する遮光シート敷設を実施 ○オオバナミズキンバイのマット状群落を現場で枯死させる「淀川方式」の試験導入	・オオバナミズキンバイ等の侵略的外来水生植物の巡回・監視と早期駆除を広範囲に実施。 ・駆除困難箇所に対する遮光シート敷設を実施。 ・オオバナミズキンバイのマット状群落を現場で枯死させる「淀川方式」の実施。
86	(11)地域住民等の協力の確保		県民活動生活課 環境政策課 琵琶湖保全再生課 循環社会推進課 びわ湖材流通推進課 流域政策局		

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
87	①地域住民等の参画の促進	森林ボランティア活動を支援	びわ湖材流通推進課	支援団体14団体	支援団体15団体
88		環境美化活動の実施	循環社会推進課	各管内で5/30、7/1、12/1を基準日とし、環境美化活動を実施した（延べ参加人数194,802人）。	各管内で5/30、7/1、12/1を基準日とし、環境美化活動を実施した（延べ参加人数197,019人）。
89	②環境学習の推進と環境保全活動の支援	環境学習活動への支援、指導者養成等	環境政策課	環境学習センターへの相談件数：177件	環境学習センターへの環境学習活動に関する相談件数：222件
90	③流域における住民活動への支援	情報発信などによる支援	琵琶湖保全再生課	びわ湖まちかどむらかど環境塾の開催14回	マザーレイクゴールズ推進事業に統合されたため、マザーレイクゴールズ推進事業に含まれる
91	④多様な主体の参画促進	琵琶湖に関わる多様な主体をつなぎ、様々な活動や事業の創発を促進することにより、マザーレイクゴールズの達成に寄与 また、琵琶湖の価値や課題の発信、琵琶湖の活用・保全再生への参画を推進	琵琶湖保全再生課	令和3年7月にマザーレイクゴールズ（MLGs）を策定。MLGsの賛同者募集（R4年度末：1,425者）、MLGs WEB（ウェブサイト）やSNSでの情報発信、MLGsワークショップの実施（全47回、延べ参加者数2,792人）を引き続き行った。また、MLGs学術フォーラムでMLGs達成状況の評価を実施するとともに、関係者が一堂に会し交流・情報共有を行う「みんなのBIWAKO会議」を開催した。	令和3年7月にマザーレイクゴールズ（MLGs）を策定。MLGsの賛同者募集（R5年度末：1,593者）、MLGs WEB（ウェブサイト）やSNSでの情報発信、MLGsワークショップの実施（全32回、延べ参加者数2,885人）を引き続き行った。また、MLGs学術フォーラムでMLGs達成状況の評価を実施するとともに、関係者が一堂に会し交流・情報共有を行う「みんなのBIWAKO会議」を開催した。
92		「琵琶湖サポーターズ・ネットワーク」の活動により、情報共有・情報交換のためのシステムや協働を推進するための仕組みを構築	県民活動生活課	・「協働ネットしが」を運用し、NPO等の団体が、HPに直接記事を掲載、写真や動画を用い活動情報やイベント情報の発信等を行った。	・「協働ネットしが」を運用し、NPO等の団体が、HPに直接記事を掲載、写真や動画を用い活動情報やイベント情報の発信等を行った。
93	⑤啓発活動	琵琶湖の水質状況、本計画の趣旨、内容等の普及啓発	琵琶湖保全再生課	出前講座の実施やHPにおいて琵琶湖水質状況等について情報提供をおこなった。	出前講座の実施やHPにおいて琵琶湖水質状況等について情報提供をおこなった。
94	(12) 南湖における水質保全対策	東岸部3地区の流入負荷削減	琵琶湖保全再生課（関係機関）	赤野井湾流域流出水対策推進計画により、各取り組みを実施。	赤野井湾流域流出水対策推進計画により、各取り組みを実施。
95	(13) 南湖の再生プロジェクト	南湖の再生	琵琶湖保全再生課	翌年度以降の取り組みについて、検討を行った。	翌年度以降の取り組みについて、検討を行った。
96	(14) 関係地域計画との整合	—	—	—	—
97	(15) 事業者に対する助成	融資制度の活用による污水处理施設の整備等の促進	中小企業支援課	実施	実施
98	(16) 関係機関等との連携および情報発信	国内外の湖沼を有する地域・国際機関との連携による琵琶湖、世界の湖沼・水環境保全	琵琶湖保全再生課	第4回アジア・太平洋水サミット等を通じて、琵琶湖保全の取組および湖沼の重要性の発信を実施（国際発信：計6回）	第19回世界湖沼会議等を通じて、琵琶湖保全の取組および湖沼の重要性の発信を実施（国際発信：計7回）

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
99	(1) 農業排水対策		守山南部土地改良区 法竜川沿岸土地改良区 J A レーク滋賀 守山市 木浜資源環境を守る会 木浜土地改良区		
100	①水稲栽培における環境 こだわり農業の推進	環境こだわり農業による生産拡大	守山南部土地改良区	営農はJAレーク滋賀にお願いする中、環境こだわり農業の推進を行い、土地改良施設（赤野井湾内川の取水と揚水、配水）の維持管理に務めた。	営農はJAレーク滋賀にお願いする中、環境こだわり農業の推進を行い、土地改良施設（赤野井湾内川の取水と揚水、配水）の維持管理に務めた。
101			法竜川沿岸土地改良区	・区内上流部地域での代掻きや田植期の田排水を中流部で用水に再利用し、その排水を下流部での用水に再利用する循環型で濁水の防止に努め、排水対策を講じた。	・区内上流部地域での代掻きや田植期の田排水を中流部で用水に再利用し、その排水を下流部での用水に再利用する循環型で濁水の防止に努め、排水対策を講じた。
102			J A レーク滋賀	環境こだわり栽培における水稲作付面積は268.8ha（内みずかがみ108.8haの取組み）	環境こだわり栽培における水稲作付面積は280.1ha（前年268.8ha）（内みずかがみ144.3ha（前年108.8ha）の取組み）
103			守山市	254ha（25,485a） ・県環境こだわり農業推進条例に基づき、環境保全型農業直接支払交付金や市の環境こだわり農産物育成補助金を措置して、作付を勧奨、奨励した。 ※実施主体 おうみ富士エコ富士米部会／特別栽培米研究会／満田会/他1件	260ha（26,093a） ・県環境にこだわり農業推進条例に基づき、環境保全型農業直接支払交付金や市の環境こだわり農産物育成補助金を措置して、作付を勧奨、奨励した。 ※実施主体 おうみ富士エコ富士米部会／特別栽培米研究会／満田会/他1件
104	②麦栽培における緩効性肥料等による施肥改善の推進	肥料の流出負荷削減を図る。	守山南部土地改良区	JAレーク滋賀の指導をお願いする中、田地からの肥料流出削減により、赤野井湾内湖の水質保全に取り組んだ。	JAレーク滋賀の指導をお願いする中、田地からの肥料流出削減により、赤野井湾内湖の水質保全に取り組んだ。
105			法竜川沿岸土地改良区	・JAレーク滋賀の指導により実施。	・JAレーク滋賀の指導により実施した。
106			J A レーク滋賀	緩効性肥料（元肥一発肥料）の推進	緩効性肥料（元肥一発肥料）の推進
107	③農業用プラスチック類や 不要農薬の回収	廃プラスチック回収 年1回	J A レーク滋賀	廃プラスチックの総回収重量は16.7t（赤野井湾の清掃事業に事業所、ボランティアとしてJAから7名が参加。）	廃プラスチックの総回収重量は15.6t（前年実績16.7t）（赤野井湾の清掃事業に事業所、ボランティアとしてJAから7名が参加。）
108		不要農薬回収 2年に1回	J A レーク滋賀	廃農薬容器の回収重量は1.7t（2年毎から毎年になり昨年に比べ3.2tより減少）	廃農薬容器の回収重量は1.5t（前年実績1.7t）

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
109	④集落における濁水流出防止等の啓発	農業組合長会議の実施、農談会の実施	J A レーク滋賀	2月下旬に実施の農談会に啓発チラシを参加者、農業組合長に配布、JA広報誌にも掲載	2月下旬に実施の農談会に啓発チラシを参加者、農業組合長に配布、JA広報誌にも掲載
110			守山市	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検(用排水、農道、ポンプ場等) ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の泥上げ	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検(用排水、農道、ポンプ場等) ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・畦畔等での除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の泥上げ
111	⑤「世代をつなぐ農村まると保全向上対策」制度を活用した活動の推進		木浜の資源環境を守る会 等	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検(用排水、農道、ポンプ場等) ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の補修	年度初めに計画を策定し、毎月別、作業別に人数を割り当て作業を行った。 ・施設の点検(用排水、農道、ポンプ場等) ・圃場の排水路の点検 ・代かき期～田植期の漏水の確認および水質調査 ・芝桜植栽及び除草作業 ・幹線排水路及び浄化池周辺の水生植物の刈り取り ・圃場排水路の補修
112	⑥循環かんがい施設の使用	毎年、かんがい期に使用する。浄化池は「世代をつなぐ農村まると保全向上対策」を活用し適正に維持管理を行う。	守山南部土地改良区	循環かんがい施設は、内湖にスクミリンゴガイの産卵が既に行われていたことから、例年同様、施設利用は行わなかった。内湖取水施設については、県や市の指導を得ることとしている。	循環かんがい施設は、内湖にスクミリンゴガイの産卵が既に行われていたことから、例年同様、施設利用は行わなかった。内湖取水施設については、県や市の指導を得ることとしている。
113			木浜土地改良区	木浜土地改良区、木浜の資源環境を守る会、水利組合にて、代かき期から田植期を主に、北部揚水機場および南部揚水機場を働かせ、用水路に合流させる循環式用水の利用を実施した。	木浜土地改良区、木浜の資源環境を守る会、水利組合は、昨年同様、代かき期から田植期を主に、北部揚水機場および南部揚水機場を働かせ、用水路に合流させる循環式用水の利用を実施した。
114	(2)市街地排水対策		下水道課 守山市		
115	①守山栗東雨水幹線整備事業の推進		下水道課	(守山市域) 184.6ha	(守山市域) 184.6ha
116			守山市	特になし	特になし

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
117	②県道・市道の透水性舗装の整備	市道：歩道設置延長（予定） 伊勢：20m	守山市	特になし	特になし
118	(3) 河川等の浄化対策		流域政策局 (独)水資源機構 琵琶湖保全再生課 守山市 NPO法人豊穰の郷 木浜自治会 守山漁業協同組合 玉津小津漁業協同組合 守山市自治連合会		
119	①浄化施設を整備・検討	天神川の河口部において取り組む。	流域政策局	天神川河口部の水質浄化施設として小津袋内湖の拡幅を実施した。	天神川河口部の水質浄化施設として小津袋内湖の拡幅を実施した。
120	②浄化施設の維持・運用	天神川、山賀川、堺川、守山川の河口部における施設にて実施	流域政策局	守山川、天神川の浄化施設の維持管理を実施した。	守山川、天神川の浄化施設の維持管理を実施した。
121	③環境配慮型の堤脚水路の維持管理	道の駅草津から堺川までの一部区間におけるビオトープにて実施	(独)水資源機構	湖岸堤道路沿いの水路（堤脚水路）周辺で除草、ゴミ回収を行った。また、水草の発生に対し巡回監視を行った。琵琶湖保全再生課が行うビオトープの自然観察会に協力した。	湖岸堤道路沿いの水路（堤脚水路）周辺で除草、ゴミ回収を行った。また、水草の発生に対し巡回監視を行った。琵琶湖保全再生課が行うビオトープの自然観察会に協力した。（2回）
122			琵琶湖保全再生課	ビオトープの維持管理を実施するとともに、自然観察会を開催：11月5日 参加者30名 (8月に予定していた観察会は新型コロナウイルス感染症拡大により中止)	ビオトープの維持管理を実施するとともに、自然観察会を開催： 8月5日 参加者14名 11月4日 参加者28名
123	④河川の浚渫等の実施	流域において実施	守山市	三反田川 L=160m 守山川 L=30m 石田川 L=40m 山科川 L=100m 勝部里中河川 L=125m 服部里中河川 L=17m	開発里中河川 L=535m 播磨田里中河川 L=60m
124	⑤河川の生息環境の保全	非かんがい期における河川の水量確保のための調査	NPO法人びわこ豊穰の郷	水質調査をおこない、非灌漑期の水量の問題を他団体と共有した。	水質調査を行い、非灌漑期の水量の問題を他団体と共有した。

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
125		河川の生きものに関する調査	NPO法人びわこ豊穡の郷	・河川の水生生物調査を11/5に実施、市内4河川を調査し目田川の生きもの図鑑を参照に生き物や川を知る。(小3以上対象) ・ホタルの飛翔調査を実施 5/10～6/9	・河川の水生生物調査を11/26実施、市内3河川を調査し目田川、吉川川、守山川で実施。生きもの図鑑を参照に生き物や川を知る。小3以上対象8名参加 ・ホタルの飛翔調査 5/8～6/9 73地点を会員自治会企業で実施
126	⑥揚水の放流	市内の河川にて実施	守山市	揚水機の稼働 案内川 ・稼働時期 令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 目田川 ・稼働時期 令和4年4月1日～令和5年3月31日 ・稼働時間 24時間/日	揚水機の稼働 案内川 ・稼働時期 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ・稼働時間 16時間/日 目田川 ・稼働時期 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ・稼働時間 24時間/日
127	⑦水と緑の潤いのあるまちづくり事業の実施	自治会の設置する揚水ポンプ設置への補助および電気料金の補助	守山市	・揚水機の電気代補助：23自治会 ・揚水機の修繕：2自治会	・揚水機の電気代補助：23自治会 ・揚水機の修繕：2自治会
128	⑧河川等の清掃活動の実施				
129	○清掃、草刈り、底泥の除去等	月1回(4月～11月)	木浜自治会	実施	実施
130	○木浜内湖のゴミ等の除去	・年2～3回 ・年1回	木浜自治会	自治会役員等が実施	自治会役員等が実施
131	○「自然の川づくり事業」の推進	地域からの広い参加	NPO法人びわこ豊穡の郷	「目田川モデル河川づくり」活動の継続(毎月第3土曜日午前中) 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・8/6企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー」実施 びわ湖のプラごみクリーン活動 ・3/11水辺の楽校目田川で参加者によるホタルの幼虫放流 ・2/25赤野井湾小津袋クリーン大作戦湖岸湖上のゴミ拾い ・10/9地域河川クリーン大作戦新守山川で実施	・「目田川モデル河川づくり」年間参加者数延べ271名、目田レンジャーをはじめとする親子の参加が増えた。 ・8/5 企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー」目田レンジャー活動発表 ・3/10水辺の楽校(春編)実施 目田川でホタルの幼虫放流41名(親子)参加、アルミ缶で飯ごう水飯、クラフト作り ・3/2赤野井湾小津袋クリーン大作戦、参加者70名、企業、自治会、団体、行政、市民等参加 ・11/5地域河川クリーン大作戦参加者9名、吉川川で実施、立命館高校の生徒が企画から参加
132	○湾内・湖岸のゴミの除去	・年4回	守山漁業協同組合	1回約200kg～300kg	年4回 1回約200kg～300kg

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
133		・年4回および出漁時	玉津小津漁業協同組合	湾内、湖岸、ヨシ帯内部ゴミ蓄積物除去作業 年／8回 湖底ゴミ蓄積物除去作業 年／4回	浮遊ゴミ堆積物等除去作業 年／6回 湖底堆積物除去作業 年／4回
134			守山市	守山市湖岸清掃運動（令和4年11月12日実施） 参加者：250人 ゴミ回収量：410kg ※赤野井湾再生プロジェクト主催の湖底ゴミ除去活動 と同日開催	守山市湖岸清掃運動（令和5年11月11日実施） 参加者：193人 ゴミ回収量：850kg
135			守山市（赤野井湾再生プロジェクト）	琵琶湖の湖底ゴミ除去活動（令和4年11月12日実施） 参加者：107人 湖底ゴミ回収量：199.9kg（内、プラスチックゴミ 110.5kg） プロジェクト独自で湖底ゴミ分析調査を実施 ※守山市主催の湖岸清掃運動と同日開催	琵琶湖の湖底ゴミ除去活動（令和5年6月24日実施） 参加者：90人 湖底ゴミ回収量：192.4kg（内、プラスチックゴミ 90.1kg）
136	○市内の河川の清掃活動を支援	市内流域にて実施	守山市自治連合会 守山市	ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 ・実施日：11月20日、11月27日、12月4日 ・実施自治会 67自治会 ・搬入量 草：63,790kg 破碎：460kg 樹木：12,170kg ヘドロ：60m³ 河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 ・実施日 7月3日、10日、17日 ・実施自治会 59自治会 ・搬入量 草：101,080kg 破碎：550kg 樹木：12,250kg	ごみのない美しいまちづくり運動 自治会が町内の清掃を実施 ・実施日：11月19日、11月26日、12月3日 ・実施自治会 68自治会 ・搬入量 草：54,550kg 破碎：370kg 樹木：12,300kg ヘドロ：48m³ 河川愛護作業 自治会が河川清掃を実施 ・実施日 7月2日、9日、16日 ・実施自治会 59自治会 ・搬入量 草：104,340kg 破碎：930kg 樹木：8,840kg
137	(4) 湾内の環境改善対策		玉津小津漁業協同組合 琵琶湖保全再生課 水産課		

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
138	①水生植物の刈取りを実施 ○水生植物の表層刈取り ○水生植物の根こそぎ除去		玉津小津漁業協同組合	水生植物ヒシ藻除去作業 年／2回	湖岸水際植物駆除作業全域 年／2回 ヨシ帯内外部競合植物駆除作業 年／2回実施 航路等のヒシ藻の駆除作業 年／数回 沖より流入する流れ藻の除去作業を実施
139			琵琶湖保全再生課	特になし	特になし
140			水産課	赤野井湾口の96ヘクタールで湖底耕うんによる水草除去を実施し、計525トン除去した。	赤野井湾口の96ヘクタールで湖底耕うんによる水草除去を実施し、計412トン除去した。
141	(5)河川・湾内等の環境美化		木浜自治会 守山漁業協同組合 NPO法人びわこ豊穰の郷 玉津小津漁業協同組合 守山市		
142	清掃活動の実施	清掃、草刈り、底泥の除去等作業	木浜自治会	実施	実施
143		木浜内湖の藻、浮草、ごみ等の除去作業	守山漁業協同組合	1回約300kg～500kg	1回約300kg～500kg
144		「自然の川づくり事業」に地域からの参加がさらに得られるよう広く展開	NPO法人びわこ豊穰の郷	「目田川モデル河川づくり」活動の継続（毎月第3土曜日午前中） 環境学習・啓発・体験の場の提供と推進。 ・7/23赤野井湾探検会実施。参加者30名。小学生以上対象 ・8/6企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー」実施 びわ湖のプラごみクリーン活動 ・7/10「守山の水辺百選」地域の水辺に学ぶ。瀬田方面への探訪を実施 ・8/27水辺楽校夏編実施参加者30名・10/9地域河川クリーン大作戦新守山 川小津学区10名参加 ・3/11水辺の楽校冬編の参加者やこども園によるホタルの幼虫放流 ・7/29～8/2夏休み生き物観察教室小学生5名参加 ・2/25赤野井湾小津袋クリーン大作戦 市民・自治会・企業・漁協・IVUSA等参加 ・あつまれみんなの川づくり	「目田川モデル河川づくり」活動の継続、目田レンジャーの仲間を増やし次世代育成に繋げる。年間参加者数延べ271名近隣のこども園の体験の場の提供 ・7/23赤野井湾探検会実施。参加者数子ども22名。保護者13名漁業体験や釣り、ブラックバスの解剖五感を使った学び体験となった ・8/5企業と連携し「びわ湖まるっと親子セミナー参加者22名（株）日吉講演、目田レンジャー活動発表 ・9/9「守山の水辺百選」参加者14名もう一度行ってみたい水辺百選巡り、講師秋山道雄氏 ・8/27水辺楽校（夏編）実施参加者子ども34名保護者26名、ごみ拾い、釣り、川流れ・11/5地域河川クリーン大作戦参加者9名吉川川で実施、日頃参加できない方々にも呼びかけた ・3/10水辺の楽校（冬編）の参加者子ども24保護者17、参加者やこども園によるホタルの幼虫放流 ・8/11～8/13夏休み生き物観察教室くつきの森研修施設 参加者子ども10名保護者4名 ・2/25赤野井湾小津袋クリーン大作戦市民自治会企業漁協IVUSA等参加

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
145		湾内・湖岸のごみの除去作業	守山漁業協同組合 玉津小津漁業協同組合 守山市	毎回軽トラック6台（流木3台、スチロール1台、ペットボトル等2台）程度のゴミを回収 守山市湖岸清掃運動（令和4年11月13日実施）	湖岸水際、浮遊物等 年／5回
146		市内の河川の清掃を支援	守山市	河川愛護作業	－
147		赤野井湾再生プロジェクトによる琵琶湖の湖底ごみ除去活動	守山市	琵琶湖の湖底ごみ除去活動（令和4年11月12日実施）	琵琶湖の湖底ごみ除去活動（令和5年6月24日実施）
148	(6) 自然生態系の保全と回復		玉津小津漁業協同組合 守山市 水産課 NPO法人びわこ豊穡の郷 守山漁業協同組合 自然環境保全課 草津市 自然環境保全課 琵琶湖保全再生課		
149	①ゆりかご水田事業の実施	年5～7回	玉津小津漁業協同組合	実施なし	600a 水田にてニゴロブナ中間育成
150			守山市	・稚魚の放流実施日→5/22～7/1（田植期から中干しまで） ・稚魚の放流→525,000匹程度 ・5集落および個人（1名）で実施 ・実施集落（合計281.6a） →赤野井、木浜、今浜、幸津川、川田町喜多、石田（個人） ・赤野井 111.4a、木浜 89.8a、今浜 46.2a、幸津川 10.0a、川田町喜多 12.2a、石田 12.0a	・稚魚の放流実施日→5/21～7/1（田植期から中干しまで） ・稚魚の放流→506,250匹程度 ・5集落および個人（1名）で実施 ・実施集落（合計285.3a） →赤野井、木浜、今浜、幸津川、川田町喜多、石田（個人） ・赤野井66.4a、木浜89.8a、今浜94.9a、幸津川 10.0a、川田町喜多12.2a、石田12.0a
151	②ニゴロブナ仔魚などの水田放流		水産課	赤野井湾周辺の水田にニゴロブナふ化仔魚420万尾を放流した。	赤野井湾周辺の水田にニゴロブナふ化仔魚408万尾を放流した。
152	③外来魚の集中駆除		水産課 玉津小津漁業協同組合	赤野井湾で電気ショックカーポートによる駆除を実施し、外来魚408kgを駆除した。また稚魚すくいにより約38万7千尾のオオクチバス稚魚を駆除した。 外来魚駆除作業 年／24回	赤野井湾で電気ショックカーポートによる駆除を実施し、外来魚323kgを駆除した。また稚魚すくいにより約11万3千尾のオオクチバス稚魚を駆除した。 外来魚駆除作業 年／33回

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
153	④湾内・河川内でのオオバナミズキンバイをはじめとした外来植物の防除	防除作業を実施、効率的な処分方法の確立。	NPO法人びわこ豊稷の郷	玉津小津漁業組合と国際ボランティア学生協会、豊稷の郷の協働でオオバナミズキンバイの除去活動10/31実施	玉津小津漁業組合と国際ボランティア学生協会、豊稷の郷の協働でオオバナミズキンバイの除去活動11/25実施 シジミご飯の提供
154			守山漁業協同組合	湾内でオオバナミズキンバイ等が軽トラック5台程度。。乾燥させて、焼却。（オオバナミズキンバイの量は令和3年度より少し減少した）	湾内でオオバナミズキンバイ等を乾燥させて、約90kg焼却。（令和4年度より増加した。）
155			玉津小津漁業協同組合	外来植物湾内、ヨシ帯、周辺河川部駆除作業 年／15回 外来植物湾内、ヨシ帯、巡回監視駆除作業 年／68回	湖岸水際外来植物駆除作業 湾内全域 年／4回実施 湾内ヨシ帯内部の外来植物駆除作業 年／6回実施 浮産卵床の外来植物駆除作業 年／12回実施
156			守山市（赤野井湾再生プロジェクト）	・毎月のウォッチャー活動における継続監視および防除 ・湖底ゴミ除去活動におけるオオバナミズキンバイ等外来植物の防除（令和4年11月12日（土）実施）	・毎月のウォッチャー活動における継続監視および防除 ・湖底ゴミ除去活動におけるオオバナミズキンバイ等外来植物の防除（令和5年6月24日実施）
157			自然環境保全課	○群落の再生を防ぐため、広範囲に巡回・監視を行い、低密度状態を維持。 ○NPO法人びわこ豊稷の郷等が行うオオバナミズキンバイ除去作業への必要資材の提供。 （いずれも琵琶湖外来水生植物対策協議会として実施）	・群落の再生を防ぐため、広範囲に巡回・監視を行い、低密度状態を維持。 ・NPO法人びわこ豊稷の郷等が行うオオバナミズキンバイ除去作業への必要資材の提供。
158	⑤湾内のハスの継続的な調査等の実施	継続的な調査やデータの蓄積等を含め、適切な管理手法の検討を進める。	草津市	※（事業なし）	※（事業なし）
159			自然環境保全課 琵琶湖保全再生課	特になし	特になし

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
160	(7) 啓発事業およびその他の関連事業		守山市消費生活学習会 環境政策課 草津市 守山市 栗東市 野洲市 湖南・甲賀環境協会 南部環境事務所 湖南流域環境保全協議会 NPO法人びわこ豊穡の郷 緑の少年団 (公社) 守山青年会議所		
161	①暮らしの中での実践				
162	○環境負荷の少ない暮らしの普及啓発	年2回	守山市消費生活学習会	7/1, 12/1 街頭啓発（CO2削減・買い物袋持参） モリーブ、平和堂、西友 11/12 湖岸掃除（湖底ゴミ除去活動に参加） 11/19～ 交流センター（フエスターにてゴミ・水に関するパネルにて啓発） 12/14 京（みやこ）エコロジーセンターにて地球温暖化防止、環境保全を学び、普段の生活（ゴミ・水）で1人1人ができることを考える一歩になるよう啓発を行った。	5/28 琵琶湖ゴミ清掃参加 7/1, 12/1 街頭啓発（モリーブ・西友）水・ゴミ・CO2削減の啓発 2/28 環境センター視察研修
163	○エコキッチン革命に取り組む。	料理教室等の開催	守山市消費生活学習会	エコキッチン革命における料理教室は中止。それに代わる、大人を中心に、健康教室を開催し、健康づくりの基本を学び、そのあとゴミの出し方などを啓発した。	12/22 大人を中心に健康教室を開催、その後、ごみの出し方などについて啓発を実施※新型コロナのため、こどもを集めることができず、大人中心の講義を開催
164	○環境に配慮した暮らしや環境保全行動の普及啓発を進める		環境政策課	7月1日「びわ湖の日」をきっかけに、琵琶湖や環境について考える啓発イベントを開催するとともに、PR動画「#びわ湖の日があるから」を作成し、SNSによる情報発信を実施した。	7月1日「びわ湖の日」をきっかけに、琵琶湖や環境について考える啓発イベントを開催するとともに、県内外の若者を中心に、琵琶湖の魅力や環境保全に関する動画を作成しSNSによる情報発信を実施した。
165	○河川への油の流出防止の啓発を実施する		草津市	河川への油の流出防止の啓発を実施する。市の広報にて市民へ周知するとともに、事業所立入時等に併せて油流出防止の啓発を実施した。	河川への油の流出防止の啓発を実施する。市の広報にて市民へ周知するとともに、事業所立入時等に併せて油流出防止の啓発を実施した。
166			守山市	事業所立入調査時等に、油の流出防止対策について確認し、啓発・指導を実施した。	事業所立入調査時等に、油の流出防止対策について確認し、啓発・指導を実施した。

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
167			栗東市	市の広報にて油流出防止に関する注意喚起を実施。 工場・事業所への立入調査時に油の流出防止対策等を確認し、啓発・指導を実施。	市の広報にて油流出防止に関する注意喚起を実施。 工場・事業所への立入調査時に油の流出防止対策等を確認し、啓発・指導を実施。
168			野洲市	市と環境保全協定を締結している108事業所のうち、今年度は33事業所を計画訪問し、環境設備の状況確認や油漏れ事故対策備品の保有状況等を確認した。	市と環境保全協定を締結している108事業所のうち、今年度は34事業所を計画訪問し、環境設備の状況確認や油漏れ事故対策備品の保有状況等を確認した。
169	②職域での実践	環境情報交換会：年7回	湖南・甲賀環境協会	1) 水質事故被害拡大防止訓練 主催：湖南・甲賀環境協会、滋賀県 共催消防署、草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市 ① 座学 9月15日甲賀地区 54名参加 9月22日南部地区 52名参加 消防署による「漏洩事故の予防と事故発生時の対応について」の講演と、消防署への「119番」通報体験を実施 ② 実地訓練 10月4日野洲市子ミニティーセンターみかみ及び御手洗川 参加者109名参加 危険物漏洩時の措置の基本を学んだ後、オイルマットの吸着実験、吸着材による油回収、土嚢の作成と積み方の体験と、油流出想定訓練実施（水路の土嚢による堰止めとオイルフェンスによる油回収）あいコムこうかの取材を受けニュースに座学及び実地訓練を録画し動画をHP上で公開した。	1) 水質事故被害拡大防止訓練 主催：湖南・甲賀環境協会、滋賀県 共催消防署、草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市 ① 座学 9月13日甲賀地区 63名参加 9月19日南部地区 83名参加 消防署による「漏洩事故の予防と事故発生時の対応について」の講演と、消防署への「119番」通報体験を実施 ② 実地訓練 10月3日湖南市雨山文化公園内雨山滝区間および周辺水路 参加者137名参加 漏洩事故時の措置の基本を学んだ後、オイルマットの吸着実験、吸着材による油回収、土嚢の作成と積み方の体験と、油流出想定訓練実施（水路の土嚢による堰止めとオイルフェンスによる油回収）座学及び実地訓練を録画し動画をHP上で公開した。また、NHKの教育番組「ズームジャパン」の取材を受けた。（3月のNHK Eテレで放送された）
170			湖南・甲賀環境協会	2) 地区別情報交換会 草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市別に1月末から2月に実施。県、市行政から工場・事業所立入調査の指摘事項や、苦情の状況と対策についての報告と、行政・会員間の情報交換を行った。	2) 地区別情報交換会 草津、栗東、守山、野洲、甲賀、湖南各市別に1月末から2月に実施。県、市行政から工場・事業所立入調査の指摘事項や、苦情の状況と対策についての報告と、行政・会員間の情報交換を行った。
171		環境に関する研修会：年3回	湖南・甲賀環境協会	各研修会 ① CO2ネットゼロに向けた滋賀県の計画 ② CO2削減に向けた事例紹介 ③ CO2ゼロ実証工場（パナソニック）の見学 ④ 油流出事故の事例紹介とその対策について	各研修会 ①各種施設設置時の届け出の手続き、環境経営、恒温機能塗料の節電効果とCO2削減（78名参加） ②産業廃棄物の処理会社の見学（41名参加） ③産業廃棄物の処理（排出事業者の責務）、低濃度PCB廃棄物の処理と対策について（121名参加） ④大気汚染防止法・水質汚濁防止法の概要について、「A1」による産業廃棄物管理について（115名参加）
172		ごみのポイ捨て禁止啓発活動	南部環境事務所	南部管内一円で55回の活動を実施した。	南部管内一円で64回の活動を実施した。
173		河川への油の流出防止の啓発	湖南・甲賀環境協会	研修会や環境情報交換会と併せて開催	研修会や環境情報交換会と併せて開催

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
174	③環境学習の展開				
175	○情報交換会の開催	年7回	湖南流域環境保全協議会	3回開催	情報交換会を2回開催し、各会員団体の活動状況の報告や今後の予定など情報交換を行った。※協議会自体は休会
176	○「川づくりフォーラム」の開催	年1回	NPO法人びわこ豊穰の郷	2/11第20回川づくりフォーラムテーマ「守山のなかの水辺」実施、学生と一緒に企画運営	2/11第20回川づくりフォーラムテーマ「守山のなかの水辺」参加者数20名中洲学区野洲川改修にまつわる話
177	○子どもの環境教育の推進	野洲川河川学習の実施：年1回	緑の少年団	野洲川河川学習を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。	—
178	○子どもの水質保全を学ぶ機会の創出	いかだくんだり大会開催 年1回	(公社) 守山青年会議所	雷雨のため野洲川冒険大会は中止になりました。	第42回野洲川冒険大会 いかだくんだり 令和5年7月1日(土) ・いかだづくり →前夜祭当日会場での作成者42艇 ・いかだコンテスト →参加42艇・181名 ・前夜祭、ステージイベント、模擬店 →来場者400名 令和5年7月2日(日) ・開会式、いかだくんだり、模擬店、ステージイベント →出艇52艇・乗船者229名・乗船しない関係者73名 ・いかだコンテスト受賞者発表、閉会式 →24チーム受賞・来場者約600名 その他に大会当日までに野洲検定を実施し、80点以上合格で41名合格(野洲検定合格証送付) 野洲川冒険大会終了後、いかだ作文を募集、応募者8名、入賞者3名
179	○たんぼのこ体験事業の実施	市内の小学校で実施	守山市	たんぼのこ体験事業 ・対象者 市内小学生 ・事業実施面積 45.2a ・参加者 市内小学生 (930名 未確定) ・実施時期および内容(米) 5月中旬～6月上旬 田植え 10月頃 稲刈り ・実施時期および内容(さつまいも) 5月下旬 苗植え 10月下旬 いもほり	たんぼのこ体験事業 ・対象者 市内小学生 ・事業実施面積 44.35a ・参加者 市内小学生(930名) ・実施時期および内容(米) 5月中旬～6月上旬 田植え 10月頃 稲刈り ・実施時期 および内容(さつまいも) 5月下旬 苗植え 10月下旬 いもほり

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
180	○地域環境に学ぶ体験学習を実施	市内の幼稚園、小・中学校で実施	守山市	スクール農園 市内全幼稚園およびこども園、小学校にて農園を開設し栽培体験を実施 ※市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校	スクール農園 市内全幼稚園およびこども園、小学校にて農園を開設し栽培体験を実施 ※市内幼稚園・こども園 9園 市内小学校 8校
181	○環境学習教材の貸出しや環境講座への講師派遣		草津市	（エコプラ環境学習啓発委託事業） 環境学習教材貸出：32件 講師派遣：16件 ※以下の事業費も含む ・環境にやさしい週間事業 ・エコプラワークショップ事業 ・エコミュージアム推進事業 ・こどもエコクラブ事務局事業 ・環境学習セミナー事業 ・エコプラ周知活動事業	（エコプラ環境学習啓発委託業務） 環境学習教材貸出：26件 講師派遣：12件 ※以下の事業費も含む ・エコプラワークショップ事業 ・こどもエコクラブ事務局事業 ・イベント開催事業 ・展示事業 ・印刷物作製事業 ・宣伝事業
182	(8) 環境モニタリング		水産課 守山市 流域政策局 琵琶湖保全再生課 NPO法人豊穰の郷 学識経験者		
183	①湾内のモニタリングの実施				
184	○イケチヨウガイの生育状況のモニタリング	イケチヨウ貝の生育調査	水産課	赤野井湾内の2漁場で2回、貝の発育状況をモニタリングしたところ、良好な成長が確認された。	赤野井湾内の2漁場で2回、貝の発育状況をモニタリングしたところ、良好な成長が確認された。
185	○水質（内湖）のモニタリング	年2回	守山市	内湖水質調査 ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り桟橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路（2地点） ・調査日 7月、12月	内湖水質調査 ・調査地点 5地点 ・調査場所 -木浜内湖釣り桟橋東端 -赤野井漁港東側の橋付近 -天神川樋門東側 -木浜内湖1号水路（2地点） ・調査日 5月 9月

赤野井湾流域流出水対策推進計画（第4期）の取組進捗状況について

	項目	第8期湖沼計画の目標	関係機関	令和4年度事業実績	令和5年度事業実績
186	○水質、底泥、生息生物のモニタリング	年2回	流域政策局	実施無し	実施なし
187			琵琶湖保全再生課	・水質調査を毎月1回実施。	水質調査を毎月1回実施
188	②流入河川の水質モニタリングの実施				
189	○市内8河川の水質モニタリング	年5回	NPO法人びわこ豊穡の郷	・守山市内河川8河川80地点の水質調査を継続（年4回と代掻き時）「身近な水環境の全国一斉調査」参加6/5 ・目田川ゴミ調査実施毎月1回	・守山市内河川8河川80地点の水質調査を実施（年4回と代掻き時）「身近な水環境の全国一斉調査」6/4 ・目田川ゴミ調査実施毎月1回
190	○市内14河川の水質モニタリング	年6回程度	守山市	河川水質調査 ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路 ・調査回数 年6回以内	河川水質調査 ・調査地点 17地点 ・調査場所 守山川、山賀川、石田川、法竜川、堺川、三反田川、樋ノ口川、金田井川、吉川川、江西川、三津川、ミソウチ川、野洲川右岸側水路 ・調査回数 年6回以内
191	○守山川の水質モニタリング	年12回	琵琶湖保全再生課	守山川（県道大津守山近江八幡線の交差地点）において実施	守山川（県道大津守山近江八幡線の交差地点）において実施
192	③湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究	③湾の水質汚濁メカニズムの調査・研究			
193	○湾内の水質の動向等についての研究		学識経験者	なし	なし
194	○湾の水質汚濁メカニズムの解明		琵琶湖保全再生課	なし	なし
195	④モニタリング結果の集約、整理、発信	モニタリング結果の収集および結果の整理と関係者への還元	NPO法人びわこ豊穡の郷	マップⅣを自治会・事業所・市内教育関係・他団体・行政等に配布し啓発に努めた・赤野井湾再生プロジェクトに参加し他団体と連携して湾内のゴミ、水草、水質調査等実施、更に県への提言に努めた。	守山市内8河川80地点の水質調査を実施し他団体と共有し啓発に努めた・赤野井湾再生プロジェクトに参加し他団体と連携して湾内のゴミ、水草、水質調査等実施、更に県への提言に努めた。